

ジオ鉄の取組み - 4年間のあゆみ (2009-2012年の活動報告)

Geo-Tetsu Project: the History of Dissemination Activities of Geoscience for Four Years (2009-2012)

藤田 勝代^{1*}, 加藤 弘徳², 横山 俊治³, 上野 将司⁴, 安田 匡⁵Masayo Fujita^{1*}, Hironori Kato², Shunji Yokoyama³, Shoji Ueno⁴, Tadashi Yasuda⁵

¹(公財) 深田地質研究所, ² 株式会社荒谷建設コンサルタント, ³ 高知大学, ⁴ 応用地質株式会社, ⁵ 株式会社田宮設計事務所
¹Fukada Geological Institute, ²Aratani Civil Engineering Consultants CO., LTD., ³Kochi University, ⁴OYO Corporation, ⁵Tamiya civil engineering Design Office Co.,Ltd.

鉄道を利用しながら沿線に広がる地質地形を楽しむ気軽な旅を通して自然科学に興味をもってもらいたい, そんな願いのもと誕生した「ジオ鉄」^{[1][2]}の取組みは, 車窓や途中下車で散策しながら大地の物語を読み解く新しい鉄道旅行のスタイルとして注目を集めている. ジオは, 地球や大地を表す言葉に用いられる「Geo-」から, 鉄(てつ)は, 鉄道そのものの意味と鉄道ファンの愛称「テツ」にちなみ, 鉄道に対する親しみと敬意を込めて, 「ジオ鉄」は筆者らが命名した新語である^{[1][2]}. 山地が国土の約7割を占める我が国にはレールが縦横に張り巡らされ, 鉄道と山地や河川の関係は切り離せない. 沿線に広がる大地の物語を読み解き, 楽しみをみんなで分かち合う. それは鉄道旅行の新しい知的楽しみ方であり, 「ジオ鉄」とは鉄道を利用した新しい形のジオツアーである. 現在, ジオ鉄の活動は, 公益財団法人深田地質研究所の普及事業の一環として継続されている(「ジオ鉄(R)」商標登録第5378786号)^[3].

多くの人にとって親しみやすいジオツアーを目指す観点から, ジオ鉄路線には, 鉄道を通じて「見る」「触れる」「感じる」ことのできる地質地形遺産や, それらと深く関わる文化遺産が沿線に存在する場所があること, また, 鉄道着工に至る当時のルート選定の苦難のエピソードが地形図から読み取れることなどが選定の基準になる. 沿線に広がる地質地形遺産, それらに関係する文化遺産の見どころは「ジオポイント」として選定され, 車窓から確認できる地質地形, 途中下車で気軽に散策できる場所, ジオ鉄写真の撮影地, 地質や地形に関わりの深い鉄道施設や廃線跡などのジオポイントを, 専門家が分かりやすい解説を加えて一般向けに紹介するのが特徴である. 列車に乗って車窓風景を眺めてもよし, 列車の待ち時間に駅周辺の地質露頭や廃線跡を散策するもよし, 鉄道とジオの構図で写真撮影を楽しむもよし, 沿線の大地の成り立ちの歴史を知るもよし, 地質図や地形図で鉄道敷設の歴史を机上で辿り, 自然との闘いと共生の道を歩んできた鉄道技術の歴史を垣間見るもよし. 人それぞれに多様な楽しみ方があるのも「ジオ鉄」の良いところである^{[1][2][3]}.

ジオ鉄の企画は2009年5月に開催された日本地球惑星科学連合2009年大会(幕張)のポスター発表を皮切りに, これまで5路線のジオ鉄を企画し, ジオ鉄の目線で捉えた数々のジオポイントを紹介してきた.

第1路線: JR 四国 土讃線^{[1][2][4]}第2路線: 土佐くろしお鉄道阿佐線(ごめん・なはり線)^{[4][5]}第3路線: JR 四国 予土線^[6]第4路線: JR 東日本・西日本 大系線^[7]第5路線: JR 北海道 富良野線^[8]

本発表では活動5年目を迎えるにあたって, これまでジオ鉄で実施してきた学会発表, 講演会, ガイド養成講座, ジオ鉄マップ制作, 現地ツアー, 商標登録, ロゴマーク制作, メディア掲載, 糸魚川市や室戸市のジオパークとの連携活動など, さまざまな形で魅力を発信し続けるジオ鉄の取組み(2009年5月~2012年12月まで)について報告する.

[1] 加藤弘徳・藤田勝代・横山俊治(2009): ジオ鉄を楽しむ 鉄道車窓からのジオツアーの提案 (1.JR 四国・土讃線), 日本地球惑星科学連合2009年大会予稿集, A004-P012.

[2] 加藤弘徳・藤田勝代・横山俊治(2009): ジオ鉄を楽しむ-鉄道車窓からのジオツアーの提案(1.JR 四国・土讃線), 総特集ジオパーク(2)地球科学がつくる持続的な地域社会, 月刊地球, vol.31, No.8, pp.445-454.

[3] 藤田勝代(2012): ジオ鉄の取組み - 4年目を迎えて(2009-2012年の活動記録), 深田地質研究所年報, No.13, pp.13-20.

[4] 横山俊治・藤田勝代・加藤弘徳(2012): 第七章ジオ鉄(R)で楽しむ高知の地質, 最新・高知の地質 大地が動く物語, 鈴木堯士・吉倉紳一編, 南の風社, pp.124-146.

[5] 藤田勝代・加藤弘徳・横山俊治・植田壮一郎(2010): ジオ鉄を楽しむ-2. ごめん・なはり線(土佐くろしお鉄道阿佐線), 日本地球惑星科学連合2010年大会予稿集, OES005-P02.

[6] 藤田勝代・加藤弘徳・横山俊治(2011): ジオ鉄を楽しむ-3.JR 四国・予土線, 日本地球惑星科学連合2011年大会予稿集, O002-P29.

[7] 上野将司・藤田勝代・横山俊治(2012): ジオ鉄を楽しむ - 4.JR 大系線. 日本地球惑星科学連合2012年大会予稿集, MIS32-P12.

[8] 安田 匡・藤田勝代(2012): ジオ鉄を楽しむ - 5.JR 北海道富良野線. 日本地球惑星科学連合2012年大会予稿集, MIS32-P13.

Japan Geoscience Union Meeting 2013

(May 19-24 2013 at Makuhari, Chiba, Japan)

©2013. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.



MIS32-09

会場:106

時間:5月21日 16:30-16:45

キーワード: ジオ鉄, 普及活動, ジオポイント, ジオ鉄マップ, 鉄道旅行, 「ジオ鉄」商標登録第 5378786 号

Keywords: Geo-Tetsu, dissemination activities, Geo-Point, Geo-Tetsu Map, train trips, trademark No. 5378786 "Geo-Tetsu"